

2 授業における基本事項

－「問い」が生まれる授業の基盤－

「授業における基本事項」は、全ての教職員に身に付けてもらいたい授業の基本について、まとめています。

本ガイドでは、各基本事項のポイントと「問い」との関わりを示しました。

日々の授業で意識して実践してください。

授業における基本事項

義務教育課

支持的風土・学習環境

- 互いに認め合い、支え合う風土の醸成
- 学習環境(学習規律、言語環境、教室環境)の充実

「確かな学力」の向上には、支持的風土の醸成と学習規律等の学習環境を整えることが大切です。

授業マネジメント

タイムマネジメント

- 授業開始・終了時刻の徹底
- 簡潔な説明と的確な指示

簡潔・明瞭・的確な指示を行い、児童生徒が思考する時間を確保するなど、授業構成と時間配分を意識して授業を進めましょう。

めあて・まとめ・振り返り

- 身に付けさせたい力を踏まえた「めあて」の設定・提示
- 「めあて」に正対した「まとめ」、「振り返り」の確実な実施

身に付けさせたい力を明確にした「めあて」を提示し「まとめ」、「振り返り」のある完結型の授業をめざしましょう。

発問

- 学習のねらいに迫る意図的・計画的な発問
- 思考を広げ、深める発問の工夫

一問一答的な質問の繰り返しではなく、児童生徒の思考を広げ、深めるような意図的・計画的な発問を工夫しましょう。

思考力・判断力・表現力等

- 課題について自分自身の考えをもつ時間の確保
- 学習のねらいの達成に向けた交流場面の設定

必然性のある交流場面で、自分の考えをもった上で他者と交流することにより、思考を広げたり深めたりする言語活動を充実させましょう。

評価・改善

- 授業の展開に生かす評価(児童生徒の学習状況の見取り)
- 指導計画に基づく評価場面の設定と諸評価の確実な実施
(診断的評価・形成的評価・総括的評価等)

児童生徒にどのような力が身に付いたかという学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒自身が自ら学習を振り返って次の学習に向かえるようにしましょう。

板書・ノート、1人1台端末

- 思考を整理し考えを深める構造的な板書・ノート指導
- 1人1台端末の日常的・効果的な活用

児童生徒が思考を整理し考えを深めるために、板書とノートを連動させましょう。また、1人1台端末を日常的に活用しましょう。

令和4年3月一部改訂